

○蓄軒獨語(其十)

蓄軒朝比奈泰彦

○ちづごけトレカノラ、ゲリダ
衣ハ低地ニハ生ジナイガ高山ニハ普通品デ或人ノ植物採集品目録中ニ此地衣ガアルト其一群ハ高山若クハ準高

山物ダナト肯ヅカサレル位ニ標準品トシ

テ取扱ハレテ居ル、此地衣ハ黃綠色ノ
小區割ヲナセル營養體ト真黑色ノ子器
トガ交互ニ入り交リテ人ノ目ニツキ易

くハシナハ子囊、絲狀體及孢子
(23-26×10-12 μ)

(蓄軒圖寫)

ク殊ニ地衣
體ノ周圍ニ
黑色ノ顯著

ナル境界線

ガアルノデ

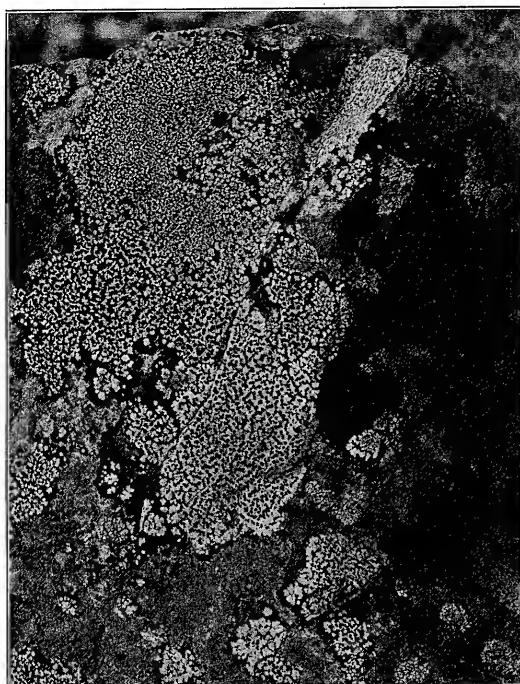
ディレニウ

ス (JOHANN

JAKOB DIL-

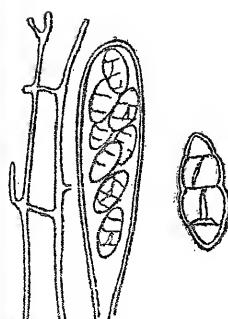
LENIUS 17

一八年頃オ



(信濃南佐久郡川上村天狗山(約一七五〇メートル)ニテ大正十五年三月武田久吉博士撮影)

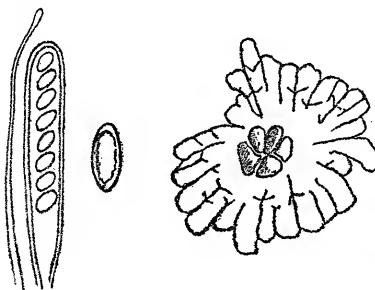
ちづごけ (Rhizocarpon geographicum DC.)



蓄軒獨語 (其十)



Lecanora gelida (L.) Ach.



Lecanora gelida (L.) Ach.

(左) 子囊、絲狀體及胞子
(右) (13-15×8-10 μ)
中央ニ頑狀體ヲ有スル地衣體

(蓄軒原圖)

「アルカリ」デモ漂白粉溶液デモ
呈色シナイガ沃度溶液ニヨリテ
紫色ヲ呈スル又子器ノ縦斷面ヲ
檢スレバ絲狀體ハ分歧シ且互ニ
連絡シ子囊ハ長圓筒狀デ八子ヲ
容レ各胞子ハ褐色 (Umbrinus)
乃至眼碧色 (Caesius) ヲ呈シ構
圓形デ通常三横隔アリ更ニ少數
ノ縦隔ニヨリ石垣狀ヲ呈スル

レカノラ、ゲリタ *Lecanora ge-*

lida Ach. ハ亦固着地衣ニ屬シ
準高山地帶ニ能ク見ルモノデア
ル、例ヘバ富士山三合目 (大宮
口) 邊ノ日光ニ暴露セル「ラバ」
ノ上ニ幼ナルモノハ徑二三分大

ナルモノハ徑二—三寸ニ達スル灰白斑トナツテ着生シテ居ル、體ノ中央部ハ地物ニ固着シ僅ニ邊縁ノミガ瓣片トナリ略ボ放射狀ヲ呈シ Section Placopsis ノ特徵ヲ示シテ居ル、表面ヲ稍強力ナル「ルーペ」デ窺フト小サナ窓ガあばたノ様ニアル是レハ粉芽體 (Soral) デアル、又子器ハ徑一—五「ミリメートル」バカリノ圓板形デ葉體上ニ座シ盤ハ肉色 (Incarnatus) ヲ呈シ綠ハ顯著デアル然シソレヨリモ更ニ特異ナモノハ此地衣ノ中央部ニ在ル淡灰色乃至淡肉色ヲ呈スル頭狀體 (Cephalodium) デアル、此地衣ノ綠顆粒ハ球藻デアルガ頭狀體ノ中ニハ藍藻 (スミス女史ニ據レバスチゴネマ及ビノストク) ヲ含ンデ居ル

○おにばすノ根莖

東北帝國大學理學部助教授 理學士 岡田要之助

おにばす (Euryale ferox SALISB.) ト云フ植物ハソノ葉ノ大キイ點カラ云ヘバ我邦本土ニ產スル植物中隨一ノモノデ恐ラク世界中デモ有數ノモノト謂ツテヨカロウト思ハレル、ソノ最モ盛ンナ發生ヲ遂ゲル富山縣水見郡十二町潟ニ於テハ大正十一年葉ノ直徑九尺餘、大正十三年八尺七寸、次ニ大正十五年即本年ハ夏期干魃ノ爲メ潟中ノ水ガ減リ鹹水ガ逆流シタ爲メ生長ヲ妨グラレタガソレデモ六尺三寸ノ直徑ヲ有スル葉ヲ測リ得タ（九月八日）ト同地の場富士彥氏ハ報ジヨコサレタ、奇妙ナコトニハ一年オキニ大キナ葉ガ出來ルソノ間ノ年ハイツモ發育惡シクセイゼイ四尺位ト云フコトデアル、牧野先生ノ御話デハ下總國府臺アタリノおにばすモ能ク生エル年ト生エヌ年トガアルトイフコトダシ先日コマロフ先生ガ東京小石川植物園ノ腊葉室ニ見エタ時オ尋ネシタトコロ北滿洲ニ見ルおにばすモ今年生エタ場所ニ來年出ナイトイフコトハ常ニ見ラレル現象デ四五年シテ行ツテ見ルトマタ出テ居ル多分水ノ深イ年ニハ生エナイモノラシイト言ハレタガ私ノ考デハ是等モ矢張リ隔年ニ生エテ居ルノデハナイカト思フ、サテ本題ニ立チモドツテ此ノ植物ハ葉ノ輪廓ハはすニ似テ居ルシ、ソシテ此